

## 温かいつながりにサポートされて

2010年に開催された第25回吉祥寺音楽祭の吉音コンテストで見事グランプリを受賞した女性デュオnutmeg (ナツメグ)。武蔵野市とはまったく縁がなかった九州出身の二人が出会った、武蔵野人の温かさ。

武蔵野に来てから  
人の環が繋がった

透明感のある声、心地よく響くハーモニー。ナツメグが紡ぐ歌はそよぐ風のように爽やかだ。

鹿児島県枕崎市で育った幼なじみの二人。小学校5年生のとき、歌を口ずさむ舞さんに、歩さんが何気なくハーモニーを重ねたのがデュオの始まりだ。歌を歌い続けたいという夢を実現するため上京し、活動していた舞さんに、歩さんが追いかけるように加わった。



歩さん(左)と舞さん(右)

初の路上ライブは吉祥寺の駅前。場所を点々とさまよっていたときに出会ったのがおでん屋さんだ。「うちの店先で歌っていいよ」と声をかけてくれ宣伝もしてくれました。

日本大震災支援のチャリティーコンサートに出演した。「日本語が通じないのでオリジナル曲を歌ってよいものか悩みましたが、結局自分たちのスタイルでいくことにしました。歌詞はわからなかったかもしれないけど『あの曲良かったよ』と声をかけてもらって、とてもうれしかったですね」

「武蔵野に来てから、人の環が一気につながっていききました」と舞さん。サポートメンバーのギタリストとも出会い、ライブハウスにも定期的に出演するようになった。

コンサート会場はもちろん、ブラシヨフ市内のあちこちにも被災地を支援する募金箱が設置されているのを見て、言葉が通じなくても、遠く離れていても伝わる思いがあることを実感した二人。

グランプリを獲得し  
歌う場所が増えた

そして獲得した吉音コンテストのグランプリ。これまで、歌うことに関してはずべて自分たちで交渉してきたが、まちの人たちからの協力を受けてイベントに出させてもらうことが増えた。

そして今年6月には、武蔵野市の友好都市であるルーマニアのブラシヨフ市から招待を受け、東



チャリティーコンサートに出演するnutmeg

今後も、音楽の力を借りて、自分たちらしい表現をしていくつもりだ。そして「これからも人と人のつながりが温かい、武蔵野市を拠点に頑張っていきたいですね」

人が人を想うこと、それがナツメグの歌の原点かもしれない。

## プロフィール

舞さん(右)と歩さん(左)の女性ボーカルデュオ。2000年に鹿児島県から上京。2010年、第25回吉祥寺音楽祭の第9回吉音コンテストでグランプリを受賞。現在、武蔵野市のイベントや新宿などのライブハウスを中心に活動中。

